

第70回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 令和6年7月31日(水) 15時30分から16時50分

・場所 宇部市総合福祉会館 4階 大ホール

・出席委員

	伊 藤 哲 夫	木 下 昇
	小 島 桂 一	岸 下 明 子
(会長)	樋 口 隆 哉	熊 切 泉
(副会長)	杉 本 憲 司	山 中 直 美
	大 城 真 吾	西 山 裕 子
	木 原 裕 子	正 木 育 代 子
	山 本 紀 子	乃 木 康 子

・欠席委員

田 辺 の ぶ か	丹 史 志
田 中 康 司	阿 山 高 丈

・事務局

市民環境部部長	黒 瀬 寛 文
市民環境部次長	上 田 康 次 郎
廃棄物対策課長	中 村 隆 行
廃棄物対策課副課長	加 藤 将 裕
環境保全センター施設課課長	正 木 弘
環境保全センター施設課副課長	植 田 昌 吉
環境保全センター施設課副課長	河 口 育 太
廃棄物対策課ごみ減量推進係長	川 口 修 平
廃棄物対策課ごみ減量推進係主任	厚 東 庸 介
廃棄物対策課ごみ減量推進係主任	金 子 龍 一

・資料

資料1-1 令和5年度総括表
資料1-2 令和5年度ごみ排出量グラフ
資料2 令和5年度の事業報告
資料3 令和6年度の主な事業について

・次第・議事録

- 1 市民環境部長あいさつ
- 2 委員の紹介
- 3 会長、副会長の選出
- 4 会長、副会長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 本市のごみの現状について
 - (2) 令和5年度の事業報告及び令和6年度の主な事業について
 - (3) その他

会長	本日の議題（１）「本市のごみの現状について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料１－１】「令和５年度総括表」説明 【資料１－２】「令和５年度ごみ排出量」説明
会長	令和４年度に対して、令和５年度で破碎残渣と焼却残渣が減った理由は何か。
事務局	破碎残渣が削減した理由は、リサイクルプラザから出る不燃系残渣の一部を一旦焼却処理した後に埋立てるよう変更したため。 また、焼却残渣が減った理由は、基幹改良工事をおこない、令和４年１０月から飛灰の資源化を開始したためである。
会長	令和５年度の事業報告及び令和６年度の主な事業について説明をお願いします。
事務局	【資料２】「令和５年度の事業報告」説明 【資料３】「令和６年度の主な事業について」説明
会長	令和５年度で子育てリユース事業の回収量が増えているが、その理由は何か。
事務局	在庫の整理や回収ボックスを増設したためである。
会長	公共施設以外は、ゆめタウンのみか。
事務局	令和４年度にコープここと宇部店、新天町のポスティビルドに設置している。
会長	民間施設への働きかけは市が依頼するのか。
事務局	コープ、ゆめタウンともに、市と包括連携協定を締結している中で設置することになったが、いずれも、市から依頼をした。
会長	今後も設置場所を増やし、回収量を増やしてほしい。
副会長	フードバンクポストはいろいろなスーパーマーケットに設置しているが、廃食油の回収ボックスはアルクやコープここと宇部店など一部に限られているのはなぜか。
事務局	フードバンクポストは、NPO 法人フードバンク山口が主宰しており、フードバンク山口と民間事業者で調整し設置している。 一方、廃食油のリサイクルは、民間事業者のアースクリエイティブ（株）が事業として取組まれているもので、廃食油回収ボックスの設置場所などについては事業者に一任しているため、設置場所に差異が出ている。
委員	子ども服や絵本、子育てグッズなどを回収した後、どこに保管しているのか？
事務局	子ども服・絵本・子育てグッズの回収は市が行い、リサイクルプラザの一室に保管をしている。
委員	回収した後、誰がどのような作業をおこなっているのか。
事務局	子ども服・絵本は、ボランティアが仕分けとタグ付を担当。 綺麗な服・汚れている服やサイズ別に仕分けをし、綺麗な服についてタグ付けをおこなった後、定期的に譲渡会を開催している。 子育てグッズは委託事業で、仕分けと譲渡会運営は受託事業者が行っている。
委員	回収ボックスを増やすと回収量が増え、作業量が増えて大変なのでは。
事務局	お見込みのとおりである。 それに対応できるボランティアの人数確保が課題と考えている。 現在、縁故者を通じてボランティアの依頼をしているところである、
委員	プラ容器で過剰な包装が見受けられる。これはお金を出してプラスチックを買ってプラスチックごみを出すことを意味する。 これらを削減するために、生産事業者や小売事業者などをどう取込むかが課題。

事務局	事業者訪問等の機会を通じ、川上での排出抑制に向けた取組を今後も続けていきたいと考えているが、本社の指示等、店舗独自で方針決定が難しい面もあると聞いているので、ごみを減量できるように粘り強く話をしていく。
会長	世の中の仕組みが中身だけ購入と言う訳にはいかない。機能は同じで、プラスチックの使用量を減らすなどの選択肢をどう広げられるかが重要。
委員	バイオディーゼル燃料の使用について、以前に市が所有する車での使用は年式の古い車両のみであると聞いたが、それ以降変わったか。また、市が所有する車両以外でどこの事業所で使用しているか把握をしているか。
事務局	現在は市では、廃車等により使用している車両はない。 市以外の使用について、事業自体が民間事業者の取組であるため、市として具体的な取引先等は把握していない。
会長	新規事業の事業所向け出前講座について、事業所が出前講座を受けることによるメリットはあるか。
事務局	事業所が出前講座を受けるメリットとして、従業員一人一人の環境意識の向上により、分別の徹底などが図れ、ごみ処理コストの削減などに繋がることが挙げられる。
会長	事業者が出前講座を受講して得すると思えるような内容にしていきたい。 事業所の従業員の方も一人の住民なので、併せて「住民としてこういうことができますよ、宇部市はこんな取組をしています。」などを伝えることができれば、日常生活の中から取組が広がっていくのではないかな。
委員	紙ごみについて、学校からのプリントは個人情報を守るために燃やせるごみに出されることが多いが、他に紙ごみを減らす取組などはあるか。
事務局	家庭用のシュレッダー機の普及が進んでおり、家庭からのシュレッダー紙の排出は増加していくと考える。ただ、シュレッダー紙はあまりリサイクルに向かないので、売払いの金額は低いことが課題。 収集ごみの約 30%を占める紙ごみの中には、ティッシュペーパーやキッチンペーパーなども含むため、再生可能な紙類がどの程度含まれているか調査の精度を上げて対応を検討したい。
会長	岩国市は、一般廃棄物処理基本計画作成時に細かく調査をされていることがあった。毎年調査することは難しいと思うので、何かの機会が出来たら良いと思う。
委員	「ばら売り量り売りマルシェ in うべ」に出店者として参加した。これは、自宅から空き容器を持って来てもらい、パンなら 1 個 1 個袋に入れず陳列するため、パッケージをしなくても良く、お客さんは要る量だけ購入することができ、イベントが終わった後もほとんどごみが出ない。しかし、食中毒などのリスクを考えると、全ての買い方に対応できるとは言えず、課題はあるものの地球環境のことを考えると良い取り組みなので、出来るところから少しずつ増えたら良いと考える。
会長	食中毒の心配があるので、思い切ったことがしづらいとは思っているので、まずは健康優先で安全を担保された上で取組みが出来れば良いと思う。事務局の考えはどうか。
事務局	取組みを広げる方法として、イベントなどを通じて、市民に周知を図ることが重要。 また、事業者に対しても、「こういう取組み方がある」ということを知ってもらうことが大切と考える。 しかし、多くの事業者から、店としても持ち帰りを推奨したいが、食中毒のリスク

	のことを考えると 実際におこなうのは難しいという意見もいただく。 だが一方では、マイバッグの利用が全国的にも普及したように一人一人が出来ることから始めるという思いが大切であると考えます。引き続き、皆様の協力をお願いする。
会長	その他、事務局から何かあるか。
事務局	特になし。
会長	それでは、以上で審議会を終了する。